

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社さくらんぼテレビジョン

山形市にある株式会社さくらんぼテレビジョンの佐藤俊美さん取材しました！

佐藤さんは宮城県出身で、2020年に入社しました。

現在は、コンテンツビジネス室および技術部で勤務しています。

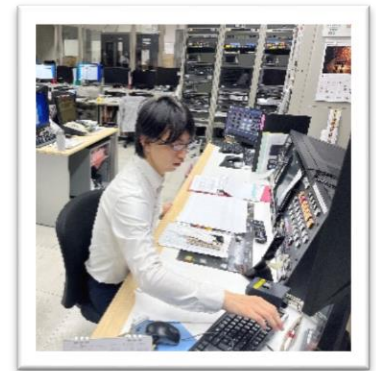
(1) 仕事内容編



——現在の仕事内容を教えてください。

これまで色々な業務を経験してきましたが、入社した時はまず技術部に配属されました。技術部ではテレビで使う電波に関する機器や電波に情報を乗せる機器の保守・整備、放送データの整理をしています。また、災害が起きた時に緊急的に番組の内容を変更するといった機器の操作を行っています。技術部の仕事としては、他にもCMの差し替え、放送データを蓄積しているクラウドデータセンターおよび系列のネットワークトラブルの緊急対応があります。機器が壊れた時に迅速に対応するといった仕事が多いですね。普段はあまり忙しくないのですが、トラブルが起きた時にすごく忙しくなるという仕事です。

現在は2つの部署で仕事をしていて、もう一つはコンテンツビジネス室です。コンテンツビジネス室では、主に新規事業開発とSNSの活用を行っています。SNSがどういったら伸びるのかという研究を日々行っています。



——村山地域と関わる仕事も多いのでしょうか。

そうですね。技術部の仕事では、災害などの速報を出します。例えば、大雨が降ったときは大雨警報の速報を出したり、地震が起きた時は緊急地震速報を出したりします。直近では、1月1日の能登半島地震の時に、「山形県に津波が来るかもしれない」ということで、津波の地図スーパーなど県民に対する緊急速報情報を出しました。速報を出すという部分で村山地域も含めた県民の人命や財産を守ることが、一番地域と密着している部分だと思います。

コンテンツビジネス室の仕事としては、活動領域が県内になっており、県内の様々な企業さんと色々な取り組みをしていけたらいいな、と考えて、様々な企業さんにお声がけをして「こういう取り組みはできませんか？」という提案を行っています。

——仕事のやりがいや楽しさを教えてください。

比較的自由に仕事をさせてもらえることや、ボトムアップで意見を聞いてもらえることがやりがいだと思います。自分から積極的に提案して、それが採用されることも多いんです。こうしたボトムアップの風土や自由な気質みたいなものがあることが、この会社のすごくいいところだなと思います。

この仕事はできて当たり前（県民に常に安定した放送を届けるという意味で、放送インフラの稼働は当たり前でなければならない）だと思ってしまうので、淡々と仕事をやっている感じです。

ただし、緊急時の対応完了は非常に達成感があります。そういう意味でやっぱり「日々の放送がちゃんと続いている」ということですね。これは、本当は当たり前のことではないのですが、自分の中では当たり前になってきているので、その「当たり前を守る」ということ

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

さくらんぼテレビジョン

ろがすごく大事かなとは思っています。

その例をひとつ挙げれば、クラウドのデータセンターが故障した時に系列各局と協力しながらそれを乗り切ったことは、やり切った感覚がありました。データセンターが故障した以外にも日々の業務でいろいろな障害を一個一個乗り越えているのですが、振り返ってみるとその経験がスキルアップになっていると思います。障害があればあるほどスキルアップにつながるので、そこはやりがいなのかなという感じですね。

(2) 職場編



——さくらんぼテレビジョンに就職を決めたきっかけは何ですか。

実はギリギリまでテレビ局という選択肢はありませんでした。大学の就活セミナーに参加した時に、別のテレビ局がブースを出していて、意外とこうした選択肢もあるんだということを知りました。自分は基本的に会社見学をしないとその会社に応募はしないというスタンスで就活をしていたので、会社見学を実施しているさくらんぼテレビで会社見学を行いました。局長をはじめいろいろな人とお話をし、会社の雰囲気がとても良かったことと、大学で学んできたことがすごくフィットするなと感じたので、この会社に決めました。

——仕事に活かしたと思う大学での経験はありますか？

そうですね……大学ではいろいろなことをやっていました。実は私は、山形大学のVR部

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

さくらんぼテレビジョン

創設メンバー5人のうちの1人なんです。VR部では映像系や配信系、SEO（Search Engine Optimization, 検索エンジンの最適化）などの知識を身につけました。研究室では画像を基に映像を作るという研究をしていたので、画像や映像に関する知識を持つことができ、現在の仕事の役に立っているなと思います。また、会社でUI（User Interface）やUX（User Experience）を作る時にはヒューマンインターフェースの知識が役に立っています。また、情報の基礎的な部分も役立っていると思います。

※UI（User Interface）：使用者がサービスを使用する上で目や手で接触するもの。画面アイコン位置や表記デザイン、マウスやキーボードなど。

※UX（User Experience）：使用者がサービスを利用した体験や感覚。楽しい、美しい、他社製品より使いやすいなど。

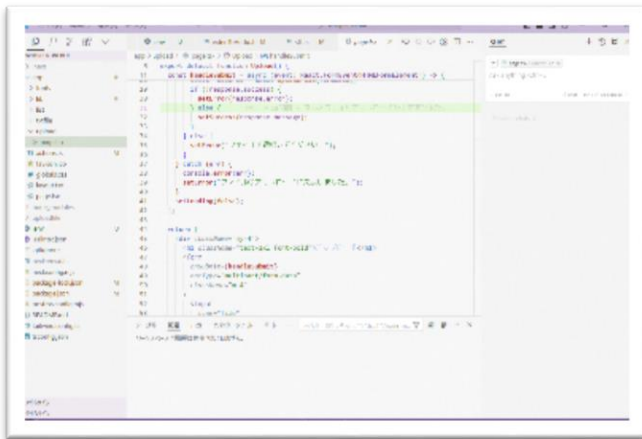
——入社して良かったと感じることはどのようなことでしょうか？

この会社は私のようなIT系、工学部系の人だけではなく、いろいろなタイプの人がいるんです。そこで、UI、UXの大事さを感じました。例えば、ソフトウェアを作ったときに、自分では「ここは大丈夫だろう」と思うところで障害が起きたり、操作を躓かれたりすることがあります。こうしたポイントを知ることで、次に作る時にはより使いやすいソフトウェアを作ることができるようになりました。



——入社してから成長したことについて教えていただけますか？

自分だけが使えればよいというスタンスでものを作ってはいけないなということを考えるようになりました。いろんな人が使えるデザインにしたり、伝えようという意思を持ってデザインをしたりしておかないと、実際に使ってもらえないんだなということを最近とても感じています。表面的なデザインには限らず、システムやルールも同じで、皆さんにフィットするような形のシステム作り、ルール作りが非常に大事なんだと感じたことがこの会社に来て一番の学びですね。



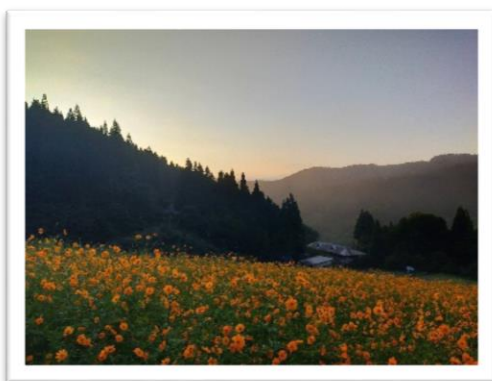
——次に、研修の内容を教えてください。

技術部の研修期間は、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）といって、ペアワークで先輩と一緒に2人で仕事をしながら実践形式で覚えていく形式です。コンテンツビジネス室は、担当業務が元々ある程度できる人たちが集まって設立された新しい部署なので、これまでに培ってきた能力を自分からバンバン出して活躍する場所になっています。そのため、特別な研修はなく、みんなでどんどんアウトプットしていきましょうという部署になっています。

——この会社の魅力やポイントを教えていただきたいです。

やはり、自分の裁量で仕事ができることや、ボトムアップの風土、自由に仕事ができるというところはすごく魅力に感じます。この会社は私を含む多くの社員がフレックス勤務になっているので、ある程度自分で自由に休憩のタイミングをとることができます。社会保険はもちろん、住宅など各種手当に加えて、資格手当は取得時だけでなく毎月支給され、福利厚生も充実している会社だと思います。

また、東京などに比べて通勤時間が短いことや、家賃が安いことも魅力だと思います。東京では平均の通勤時間が1時間くらいかかると聞きましたが、山形だと15分から30分くらいなので、その分自由に使える時間を増やすことができます。また東京では普通のワンルームでも7万円くらいかかるようですが、山形だと4万円くらいでアパートを借りられます。給料は東京のほうが高いかもしれませんが、家賃などの生活にかかる費用を考えると、村山地域で仕事をするのも十分ありなのかなと思います。

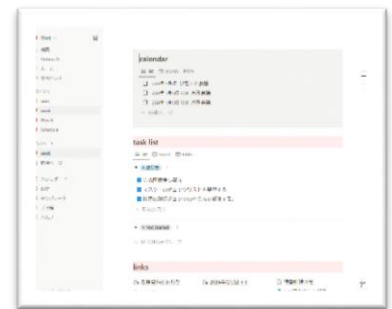


(3) ある日の過ごし方編

●10:00 【出社・業務開始】

トラブルに対応するという業務の性質と、フレックスタイム制であることから、10:00頃に出社します。

まず、その日やるべきことをメールと Teams と Notion で確認します。Notion は手帳のように使い、会社で残っているタスクや自分がやるべきプロジェクトやタスク、会社で得られた知識を蓄えています。



●11:00 【調査・実験・発表】

エンジニアリング、デザイン、マーケティングの3つの分野に関して調べたり、実験をしたりして、得られた結果を発表するというのが基本的な仕事です。

●12:00 【お昼休憩】

●13:00 【打合せ】

一緒に仕事をしているメンバーと、ペアワークのような形式で、研究で得られたことを共有します。今後はこういう感じでやっていきたいと思いますということをアウトプットして新しいビジネスチャンスを作るようなものです。方向性やできることの共有などを行います。



●14：00 【課題の抽出と調査・実験】

引き続き得られたことをまとめつつ、新しく出てきた課題を調査したり、実験したりということを繰り返し行います。

●19：00 【終業・退勤】

帰った後は健康のために運動したり、お風呂やご飯を済ませたりして、21 時頃から自分の仕事を行います。この会社は許可が得られれば副業が OK になっているので、プロダクトやサービスの開発、YouTube チャンネルの運営といった副業を行っています。そして、副業で得た知識は会社に還元するというループをずっとやっているという感じですね。



(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域で暮らしていて良かったな、と思うところがありますか？

通勤時間と給料とのバランス面が良いことです。また、私はラーメンがすごく好きで……これで山形に就職することを決めたといっても過言ではありませんね。通勤時間や給料のバランスが良い地域は栃木、群馬、仙台など他にもあると思います。そのため、ラーメンが美味しいというところは山形の大きな決め手になりました。

本当に決め手になったのは、南陽市にある麺屋葵というお店です。このお店が好きすぎてほぼ毎週行っています。

——他にも、山形県で好きなものはありますか？

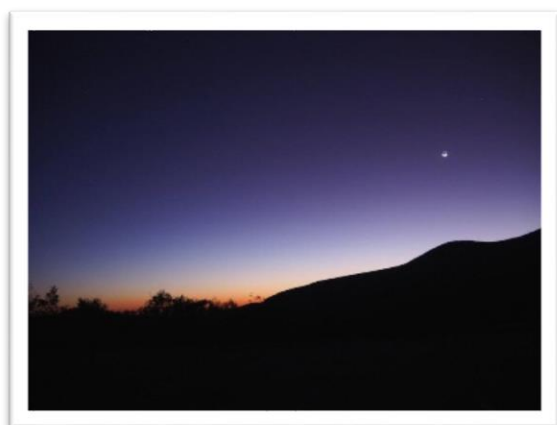
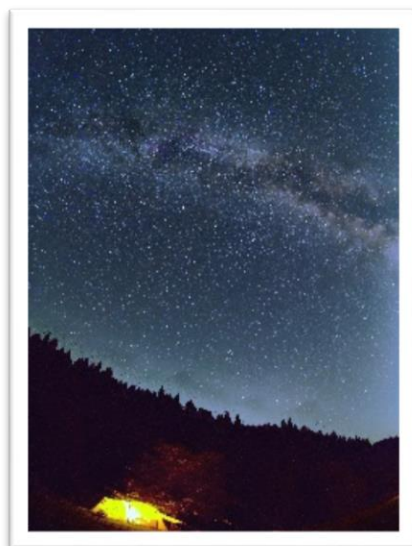
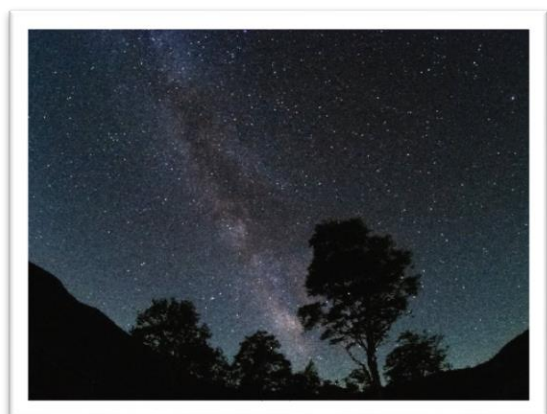
学生の頃から星を見るのが好きで、大学でもそのサークルに入っていたんです。山形は星がきれいに見えるスポットが多いと思います。近場で言うと蔵王ですね。車で30分くらいで行けます。「蔵王雲抜け」という現象があって、下の街明かりが雲海でシャットアウトされて「お手軽ハワイ」と言われるくらい星がきれいに見えます。発生する確率は低いのですが、条件が合ったときにはハワイのようなきれいな星空が見えます。他にも車で1時間以内のところでは星がきれいに見える穴場スポットがたくさんあります。月山もすごくきれいに星が見えますね。本当にいろいろなスポットがあるので飽きませんね。

食べ物であれば、ぶどうの「ピオーネ」です。これまではフルーツが好きという自覚はなかったんです。東北地方に住んでいると、ぶどう、桃、さくらんぼなどすごくおいしい果物がたくさんあって、それが当たり前だと思っていました。そんな時、他の県に行った際に食べたちょっとお高めなフルーツが「味が薄いな」と感じたことがあって、自分が山形で買う産直の果物ってすごいんだなと気づきました。果物が美味しいところは山形のいいところだ

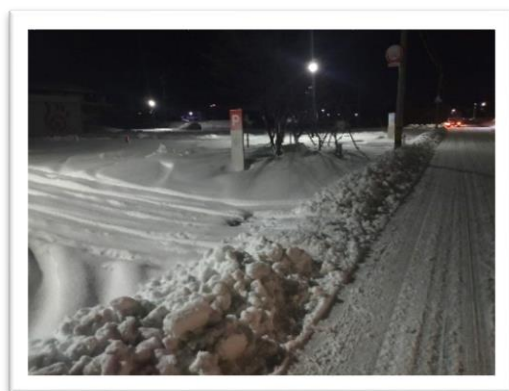
働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

さくらんぼテレビジョン

なと思います。10月くらいになると会社のすぐ近くで産直のぶどうが売り出されるのですが、安くて美味くてコスパが本当に良いです。



——では、逆に村山地域で暮らしていて大変だと思
うところがありますか？



やっぱり雪ですね。でも最近は雪があまり降らなくなってきているので、昔に比べれば過
ごしやすいなと思います。放送は24時間継続させなければいけないので、夜に出勤するこ

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

さくらんぼテレビジョン

ともあるんです。夜中はまだ除雪されていない時もあるって、広い道を選んで運転したり、会社に着いてから駐車場を除雪したりしなければならないことが大変ですね。

——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どんな風に過ごしていますか。

色々な分野の勉強や研究をしています。最近はマーケティングやデザインの勉強を家でやっていますね。基本的にはプロダクトを1個持ってそれを研究していたり、コンセプトを作ってヒアリングやアンケートを行ったりしています。例えば、VRChatにアプリの「斎藤さん」のような機能があるのですが、それを使って新しいコンセプトを紹介し、課題を研究するといったことをしています。学術的な研究ではなくて、どちらかというビジネス的な研究をしています。

それから、読書もしていますね。デザイン、マーケティング、エンジニアリングの本を読みます。最近はReactというUIフレームワークがあるのですが、その勉強をひたすらやっています。

——どのような人が山形の暮らしに向いていると思いますか？

雪と関係する話なのですが……私は好きな季節を聞かれたら、最近は冬だなんて思うんです。多分冬が好きじゃないと山形に住むのは難しいですね。雪や冬が好きな人は向いていると思います。あとラーメンが好きな人が向いているかなと思います。



(5) まとめ編

———今後の目標を教えてください。

放送業界は今右肩下がりになっているんです。放送は YouTube と違ってスキップや一時停止、2倍速といった機能が使えないので、こうした機能に慣れ親しんだ人がテレビに戻ってくるのは難しいんですよね。そうすると、放送のビジネスは最終的にはなくなるかもしれません。だからこそ、今のうちにどのようなことができるのか、どうやってビジネスを転換していくかということが、今のこの会社の大きな目標の一つになっています。その中で自分が作ったビジネスが1個か2個でも軌道に乗ってくれば良いな、というのが今の目標になっています。

———これから就活する学生へ向けて、アドバイスをお願いします。

エンジニアリング、デザイン、マーケティングの3つのスキルをある程度身に付けておくと、就活の時点では役に立つかどうかはわからないのですが、就職後は非常に役に立つと思います。この世界の大体の仕事がこの3つのどれかと関わってきますし、新しい事業を立ち上げるとなった時には、このどれか1つでも欠けていたらいけないので、この3つの知識があるとすごく良いのかなと思います。

それから、会社見学をされるといいですよ。見学に行った段階でその会社の雰囲気があるので、あらかじめ見学する方が安心してその会社に就職できます。私は見学して「この会社は自分とは合わないな」と思ったことが結構あったので、よく見学しておくほうが良いと思います。

——山形県で就職しようか、都会のほうで就職しようか迷っている人には、こういったアドバイスをしますか？

やはり通勤時間は考えた方がいいですね。通勤時間が長くても、その時間で勉強できると思うかもしれませんが、実際には混み合う中で勉強するのは難しいと思います。通勤時間もある意味残業みたいなものだよ、ということはすごく言いたいですね。通勤時間を片道1時間だとすると、毎日2時間残業することになります。混んでいる電車は本当に大変です。私は時々出張で混雑した電車に乗ることがありますが……私は人混みが苦手なので、毎日乗るとなると、無理ですね。

それから、都会は賃金は高くても、家賃や物価もその分高いです。それを考えると、山形は意外とお得なんだよということも言いたいですね。今は大体の娯楽がネットで手に入ったので、都会に住むメリットが小さくなってきている部分があると思います。

——ありがとうございました！

さくらんぼテレビジョンの佐藤さんは気さくで明るい雰囲気印象的でした。インタビュー中も時折笑いが生まれて、職場環境が和やかな雰囲気だと感じました。インタビューをして株式会社さくらんぼテレビジョンさんはボトムアップの風土がある自由のある職場で、自分のスキルを高めて成長できる環境が整っていると感じました。また、放送の仕事でも、佐藤さんのような理系の仕事もあることを初めて知りました。文系理系問わず働ける魅力的な職場だと感じました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 村主愛実
工学部 奥山真生 濱浦祐菜】

株式会社さくらんぼテレビジョン

★若手社員・理系社員、活躍中！「貢献・成長・やりがい・仲間」を大切にしている職場です。

県内勤務 # 年間休日 120 日以上 # フレックスタイム # 男性育休 100%取得 # 常勤役員の女性割合 33% # 管理職の女性割合 25%！個性を尊重し、性別・年齢を問わず活躍できる環境づくりに力を入れています。

★山形県「やまがたスマイル企業認定制度」最高ランク「ダイヤモンドスマイル企業」

- ・所在地 山形県山形市落合町 85 番地
- ・設立 平成 8 年 3 月
- ・従業員数 57 名
- ・事業内容 民間放送業（フジテレビ系列）
- ・URL <https://www.sakuranbo.co.jp/>

